

## 医療秘書科のカリキュラムと 病歴室実習および業務との関連性

川崎医療短期大学 医療秘書科

川崎医科大学附属病院 中央病歴室\*

山 神 英 子 草 信 正 志 中 島 行 正  
岡 田 聚 土 居 智 子 赤 畠 健  
湊 泰 子 \*武 田 好 子

(昭和59年9月10日受理)

A Study of Course Curricula in the Department of Medical  
Secretarial Science With Particular Reference To In-service Train-  
ing Program and Actual Practice of Medical Record Administration  
— A Questionnaire Survey —

Eiko YAMAGAMI, Masashi KUSANOBU, Yukimasa  
NAKASHIMA, Atsumu OKADA, Tomoko DOI, Takeshi  
AKABATAKE, Yasuko MINATO, Yoshiko TAKEDA\*

Department of Medical Secretarial Science, Kawasaki College of Allied Health Professions

\*Department of Medical Records, Kawasaki Medical School Hospital

Kurashiki 701-01, Japan

(Received on Sep. 10, 1984)

Key words : 病歴室実習, 病歴管理業務, 医療秘書科カリキュラム

### 概 要

川崎医療短期大学医療秘書科の教育カリキュラムと2年次に行われる病歴室実習との関連を把握するために在學生40人および実際に病歴室に勤務している卒業生16人に対し、アンケート調査を行った。

在學生に対するアンケート調査で、病歴室実習と関連ありという回答を30.0%以上得た教科は次のとおりである。すなわち、電話応対では、秘書実務概論、秘書実務実習、病歴管理学、秘書総論；収納では、病歴管理学；コーディングでは、医学用語、病歴管理学、臨床医学内科系総論、臨床医学外科系総論、解剖・生理学；編冊・患者名索引カード作成では、英文タイプ実習、病歴管理学；POMRカンファレンス記録作成

では、医学用語、書道（硬筆）、速記実習、臨床医学内科系総論であった。

また、卒業生に対するアンケート調査で、現在の担当業務と在学中履習した教科および実習の中で関連ありという回答を30.0%以上得たものは、医学基礎教科では、医学用語、解剖・生理学、臨床医学内科系総論、病理学、臨床医学外科系総論、秘書専門（技術）教科では、英文タイプ実習、書道（硬筆）、応用教科では病歴管理学、病院実習では病歴室実習であった。

## 1 はじめに

昭和52年4月、川崎医療短期大学に医療秘書科が設置され、昭和59年3月までに6期生688名を送り出している。

医療秘書科の教育は1年次には医学基礎教科、秘書専門教科、応用教科の講義と学内の実習室を利用して英文タイプや和文タイプ、複写技術、速記など技術教科の基礎実習を行い、2年次になると川崎医科大学附属病院および川崎医科大学附属川崎病院で実習を行っている<sup>2)</sup>。病院実習の中の臨床教授実習については草信<sup>3)</sup>が、図書館実習については湊<sup>4)</sup>が、医療事務実習については土居<sup>5)</sup>が、病歴室実習については草信<sup>6)</sup>がすでに発表したところである。草信は川崎医科大学附属病院における病歴室実習の現状を報告し、講義の内容を実習現場へいかに反映させるかという問題を提起した。そこで、今回は病歴室実習と医療秘書科の教育カリキュラムとの関連を把握するために、在学生および卒業生に対し、次のようなアンケート調査を行い、興味ある結果を得たので、その一部に若干の検討を加えて報告する。

## 2 アンケート調査方法

対象者は、昭和59年度医療秘書科2年生のうち昭和59年7月13日までに病歴管理実習を終えた40人の在学生と、本学医療秘書科を卒業し、現在6施設の病歴室に勤務している16人の卒業生である。

在学生に対するアンケート調査の内容は（様式1）に示す通りで、まず、1年次に学習した教科を示し、実習内容の中から電話応対、収納、コーディング、編冊・患者名索引カード作成、POMRカンファレンス記録作成の5つの項目を上げ、さらに、それぞれの項目について、実習した印象、難しかった理由、関連教科などについて設問した。

卒業生に対するアンケート調査の内容は（様式2）に示す通りで、現在の担当業務内容が病院により異なると考えられるため、まず、在学中に履習した教科および実習を示し、そして、現在の担当業務内容を列挙させ、上記の教科および実習の中で関連があると思われるものを番号で示すという形式をとった。

これらのアンケート用紙は郵送し、回答は各自返送してもらった。

## 3 アンケート調査結果

在学生に対するアンケートの回答は34人から得られ回収率は85.0%であった。アンケート調査結果のうち、病歴室実習と関連教科について表1に示した。表中の数字は関連ありと答えた

## (様式1) 在学生に対するアンケート

病歴室実習でいろいろな事を実習したと思います  
が、電話対応、収納、コーディング、編冊・索引カ  
ード作成、POMR カンファレンス記録作成の5項  
目についてそれぞれのアンケートに記入して下さい。

学籍番号 氏名

一年次に学習した教科

1. 病歴管理学 2. 医学概論 3. 解剖・生理学
4. 病理学 5. 臨床検査学 6. 臨床医学内科系  
総論 7. 臨床医学外科系総論 8. 医学用語
9. 秘書総論 10. 人間関係論 11. 秘書実務概論
12. 秘書実務実習 13. 文書言語表現 14. 事務文  
書管理 15. 情報管理 16. 複写技術 17. 英文タ  
イプ実習 18. 和文タイプ実習 19. 速記実習
20. 書道(硬筆) 21. 医学関係法規 22. 病院管理  
学 23. 医療事務総論

## I. 電話対応

1. 印象 該当するものに○をして下さい。  
A. 簡単だった B. ふつう C. 難しかった
2. 1で、C. 難しかったと答えた人に、その理  
由として該当するものすべてに○をして下さい。  
a. 相手が早口だった。  
b. 聞きなれない言葉が出てきた。  
c. 病歴室のシステムが、よくわかっていな  
かった。  
d. メモが上手にとれなかった。  
e. 他の作業をしながらだった。  
f. その他
3. 関連教科 一年次に学習した教科の中で関  
連があると思う教科の番号を書いて下さい。
4. 実習前に学習しておきたかった事はありまし  
たか。該当するものに○をして下さい。  
A. はい B. いいえ
5. 4で、A. はいと答えた人に、それはどのよ  
うな事でしたか。
6. その他、実習して初めてわかった事、気づい  
た事、感じた事等あったら書いて下さい。

## II. 収納(入院診療録, 外来診療録, X線フィルム)

1. 印象 該当するものに○をして下さい。  
• 入院診療録について  
A. 簡単だった B. ふつう C. 難しかった  
• 外来診療録について  
A. 簡単だった B. ふつう C. 難しかった  
• X線フィルムについて  
A. 簡単だった B. ふつう C. 難しかった
2. 関連教科 一年次に学習した教科の中で関  
連があると思う教科の番号を書いて下さい。
3. 実習前に学習しておきたかった事はありまし  
たか。該当するものに○をして下さい。  
A. はい B. いいえ
4. 3で、A. はいと答えた人に、それはどのよ  
うな事でしたか。
5. その他、実習して初めてわかった事、気づい  
た事、感じた事等あったら書いて下さい。

## III. コーディング

〈傷病名コーディングについて〉

1. 印象 該当するものに○をして下さい。  
A. 簡単だった B. ふつう C. 難しかった
2. 1で、C. 難しかったと答えた人に、その理  
由として、該当するものすべてに○をして下さ  
い。  
a. 傷病名が英語で書かれていた。  
b. 医師の字が読みにくかった。  
c. 分類表の3巻が引けなかった。  
d. 3巻は引けたが、2巻が引けなかった。  
e. 2巻で細分類(4桁, 5桁)を引くの  
を忘れた。  
f. 2巻で細分類(4桁, 5桁)がわからな  
かった。  
g. 診療録の各種記録を見るのを忘れた。  
h. 診療録の各種記録の内容が理解できな  
かった。  
i. Eコードが難しかった。  
j. Vコードが難しかった。  
k. その他
3. 実習で、色々な診療科の傷病名をコーディ  
ングしたと思いますが、その中で、特に難しか  
つたと感じた診療科があれば書いて下さい。

4. 関連教科 一年次に学習した教科の中で関連があると思う教科の番号を書いて下さい。

5. 実習前に学習しておきたかった事はありましたか。該当するものに○をして下さい。

A. はい B. いいえ

6. 5で、A. はいと答えた人に、それはどのような事でしたか。

7. その他、実習して初めてわかった事、気づいた事、感じた事等あったら書いて下さい。

〈手術名コーディングについて〉

1. 印象 該当するものに○をして下さい。

A. 簡単だった B. ふつう C. 難しかった

2. 1で、C. 難しかったと答えた人に、その理由を書いて下さい。

#### IV. 編冊・患者名索引カード作成

1. 退院診療録編冊の印象 該当するものに○をして下さい。

A. 簡単だった B. ふつう C. 難しかった

2. 1で、C. 難しかったと答えた人に、その理由を書いて下さい。

3. 患者名索引カード作成の印象 該当するものに○をして下さい。

A. 簡単だった B. ふつう C. 難しかった

4. 3で、C. 難しかったと答えた人に、その理由を書いて下さい。

5. カードにタイプ打ちをした印象はどうでしたか。該当するものに○をして下さい。

A. 簡単だった B. ふつう C. 難しかった

6. 関連教科 一年次に学習した教科の中で関連があると思う教科の番号を書いて下さい。

7. 実習前に学習しておきたかった事はありましたか。該当するものに○をして下さい。

A. はい B. いいえ

8. 7で、A. はいと答えた人に、それはどのような事でしたか。

9. その他、実習して初めてわかった事、気づいた事、感じた事等あったら書いて下さい。

#### V. POMR カンファレンス記録作成

〈記録作成について〉

1. 印象 該当するものに○をして下さい。

A. 簡単だった B. ふつう C. 難しかった

2. 1で、C. 難しかったと答えた人に、その理由として、該当するものに○をして下さい。

a. テープを聞きながら話しことばを書き取るのが難しかった。

b. 医学用語がよくわからなかった。

c. 英語がよくわからなかった。

d. 略語がよくわからなかった。

e. 医学的知識の差異を感じた。

f. 検査の種類がよくわからなかった。

g. その他

3. 関連教科 一年次に学習した教科の中で関連があると思う教科の番号を書いて下さい。

4. 実習前に学習しておきたかった事はありましたか。該当するものに○をして下さい。

A. はい B. いいえ

5. 4で、A. はいと答えた人に、それはどのような事でしたか。

〈POMR について〉

1. カンファレンスに同席する前のPOMRについての印象を書いて下さい。

2. カンファレンスに同席した後のPOMRについての印象を書いて下さい。

3. 一年次に行ったPOMR 実習は役に立ったと思いますか。該当するものに○をして下さい。

A. はい B. いいえ

4. その他、実習して初めてわかった事、気づいた事、感じた事があったら書いて下さい。

• 記録作成について

• POMR について

## (様式2) 卒業生に対するアンケート

1. 氏名 \_\_\_\_\_  
 2. 卒業期 \_\_\_\_\_ 期生  
 3. 病院名 \_\_\_\_\_  
 4. 所在地  
 〒 \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_

TEL. ( )

5. 現在の職場の正式名称  
 \_\_\_\_\_

6. あなたの現在の業務内容の主なものをいくつか書いて下さい。そして、それぞれの業務に対して下記の短大在学中に履習した教科および実習の中で関連があると思われるものの番号を書いて下さい。

在学中に履習した教科および実習

〔教科〕

1. 病歴管理学 2. 医学概論 3. 解剖・生理学 4. 病理学 5. 臨床検査学 6. 臨床医学内科系総論 7. 臨床医学外科系総論, 8. 医学用語 9. 秘書総論 10. 人間関係論 11. 秘書実務概論 12. 秘書実務実習 13. 文書言語表現 14. 事務文書管理 15. 情報管理 16. 複写技術 17. 医学関係法規 18. 病院管理学 19. 医療事務総論 20. 医学図書概論 21. 病院経理学 22. 情報管理実習 23. 放射線医学

- 概論 24. 医療事務演習 25. Oral English  
 26. 英会話 27. コンビタイプ 28. 計算実務  
 29. 会計 30. 経理実務 31. 複写技術Ⅱ 32. 英文タイプ実習 33. 和文タイプ実習 34. 書道(硬筆) 35. 書道(毛筆)

〔実習〕

41. 図書館実習 42. 中央教員秘書室実習  
 43. 臨床教授実習 44. 病歴室実習  
 45. 業務部実習 46. 医事課実習

〔業務内容〕

〔教科および実習番号〕

7. 在学中に学習しておきたかった事はありましたか。あれば書いて下さい。

総数であり、( )中にはその%を示した。

医学基礎教科と関連が深い成績を示したのは、実習内容ではコーディングとPOMRカンファレンス記録作成であり、コーディングの中では医学用語88.2%、臨床医学内科系総論55.9%、臨床医学外科系総論50.0%、POMRカンファレンス記録作成では、医学用語63.3%、臨床医学内科系総論43.3%であった。

秘書専門(技術)教科と関連が深い成績を示したのは、実習内容では電話対応、編冊・患者名索引カード作成、POMRカンファレンス記録作成であり、電話対応の中では、秘書実務概論79.4%、秘書実務実習73.5%、編冊・索引カード作成では、英文タイプ実習82.4%、POMRカンファレンス記録作成では、書道(硬筆)63.3%、速記実習53.3%であった。

応用教科の中では、どの実習項目に対しても病歴管理学と関連が深い成績を示し、収納88.2%、コーディング85.3%、電話対応44.1%、編冊・患者名索引カード作成32.4%であった。

次に、卒業生に対するアンケート調査結果を表2に示した。卒業生の業務内容は病院により

表1 在学生に対するアンケート調査結果

実習内容		電話対応	収 納	コーディング	編冊・患者名 索引カード作成	POMR カンファレンス 記録作成
教 科						
医学基礎 教科	医学概論	1 (2.9)	0 (0)	1 (2.9)	1 (2.9)	5 (16.7)
	解剖・生理学	0 (0)	1 (2.9)	11 (32.4)	1 (2.9)	5 (16.7)
	病理学	0 (0)	1 (2.9)	9 (26.5)	1 (2.9)	4 (13.3)
	臨床検査学	0 (0)	1 (2.9)	2 (5.9)	1 (2.9)	8 (26.7)
	臨床医学内科系総論	2 (5.9)	1 (2.9)	19 (55.9)	4 (11.8)	13 (43.3)
	臨床医学外科系総論	0 (0)	1 (2.9)	17 (50.0)	0 (0)	6 (20.0)
	医学用語	5 (14.7)	4 (11.8)	30 (88.2)	8 (23.5)	19 (63.3)
秘書専門 (技術) 教科	秘書総論	13 (38.2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (3.3)
	人間関係論	7 (20.6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	秘書実務概論	27 (79.4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (3.3)
	秘書実務実習	25 (73.5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (6.7)
	文書言語表現	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (13.3)
	英文タイプ実習	4 (11.8)	0 (0)	0 (0)	28 (82.4)	0 (0)
	速記実習	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	16 (53.3)
	書道(硬筆)	1 (2.9)	0 (0)	0 (0)	7 (20.6)	19 (63.3)
応用教科	病院管理学	1 (2.9)	1 (2.9)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	病歴管理学	15 (44.1)	30 (88.2)	29 (85.3)	11 (32.4)	5 (16.7)
	医療事務総論	0 (0)	3 (8.8)	0 (0)	0 (0)	1 (3.3)

〔注〕 1) 数字は関連ありという回答のあった総数, ( )内にはその%を示した。

2) POMR カンファレンス記録作成はカンファレンスに参加した30人を対象とした。

多岐であったので、在学生の実習のように各業務内容に分けて作表することが困難であったので、単に各教科および実習ごとに関連があると答えた総数とその%を示した。

現在の業務内容に対し関連があると答えた教科のうちで高率のものをみると、医学基礎教科の中では、医学用語80.0%、解剖・生理学53.3%、臨床医学内科系総論、病理学はそれぞれ46.7%であった。秘書専門(技術)教科では、英文タイプ実習86.7%、書道(硬筆)33.3%であった。応用教科では、病歴管理学66.7%であり、病院実習の中では、病歴室実習73.3%であった。

#### 4 考 察

本学医療秘書科2年次の病歴室実習は、川崎医科大学附属病院中央病歴室において、1グループ5人が、2週間を単位として行っている。

電話対応実習では、各科外来からかかってくる1日約80件の外来診療録貸し出し依頼の電話のほとんどを対応させている。関連ありという回答を30.0%以上得た教科をみると(以下同じ)、秘書実務概論、秘書実務実習との関連が深かったのは、それらの教科および実習で、電話の基礎知識、エチケット等の講義が行われ、ビデオを用いたり、実際に電話機を使って学内実習が

表2 卒業生に対するアンケート調査結果

教科および実習		人 (%)
医学基礎教科	医学概論	2 (13.3)
	解剖・生理学	8 (53.3)
	病理学	7 (46.7)
	臨床検査学	4 (26.7)
	臨床医学内科系総論	7 (46.7)
	臨床医学外科系総論	6 (40.0)
	医学用語	12 (80.0)
	放射線医学概論	1 (6.7)
秘書専門(技術)教科	秘書総論	3 (20.0)
	秘書実務概論	2 (13.3)
	秘書実務実習	3 (20.0)
	文書言語表現	1 (6.7)
	事務文書管理	1 (6.7)
	情報管理	2 (13.3)
	情報管理実習	3 (20.0)
	コンピタイプ	1 (6.7)
	計算実務	2 (13.3)
	複写技術	2 (13.3)
	英文タイプ実習	13 (86.7)
	和文タイプ実習	2 (13.3)
	書道(硬筆)	5 (33.3)
	書道(毛筆)	1 (6.7)
応用教科	医学関係法規	1 (6.7)
	病院管理学	1 (6.7)
	病歴管理学	10 (66.7)
	医療事務総論	2 (13.3)
	医療事務演習	1 (6.7)
	病院経理学	1 (6.7)
病院実習	臨床教授実習	1 (6.7)
	病歴室実習	11 (73.3)
	医事課実習	1 (6.7)

[注] 数字は関連ありという回答のあった総数。

( )内にはその%を示した。

行われたためと思われる。病歴管理学では外来診療録の管理システムの知識が役立ったと考えられる。秘書総論では、電話応対時の声の出し方や接遇業務としての電話応対の心構えについて講義が行われたためであろう。

収納実習が病歴管理学と関連が深かったのは、外来診療録の中間桁分類法、入院診療録の一連一元番号法のファイリングシステムの講義や、外来・入院診療録の保管庫についての講義を行ったためと考えられる。

コーディング実習は、国際疾病分類(International Classification of Diseases: ICD)の分類表<sup>7)8)</sup>を用い、診療録の傷病名をコード化するもので、実習生1人平均約60の傷病名のコーディングを行っているが、医学用語と関連が深かったのは最終診断名を読みとるために必要であったと考えられる。病歴管理学と関連が深かったのは、1年次の3学期に学生全員にICDの分類表の2巻、3巻を用意し、250例の傷病名コーディング演習を行ったためであろう。また、臨床医学内科系総論、臨床医学外科系総論、解剖・生理学とも関連が深かったのは、正しいコーディングをするために病名を深く理解する必要があったためと思われる。

編冊・患者名索引カード作成は、退院診療録整理の一連の実習として行っている。英文タイプが非常に高率を示したのは、英文タイプによるカード作成に学生の興味が集中していたためと考えられる。また、病歴管理学とも関連を示したのは、編冊順序の講義があったためであろう。

POMRカンファレンス記録作成は、川崎医科大学<sup>9)10)</sup>5年生を対象に行うPOMRカンファレンスの記

録を病歴室で実習中の医療秘書科学生が作成するもので、カンファレンスに出席してその内容を録音し、テープから記録を作成するものである。医学用語が関連が深かったのは、カンファレンスで診療録内容の討論に医学用語がしばしば使われたためであろう。書道(硬筆)が関連が深かったのは、記録作成にあたって清書の段階で硬筆を必要とするものと思われ、速記実習

が関連が深かったのはテープからの書き取りと速記との共通点があるものと思われる。また、臨床医学内科系総論が関連が深かったのは、1年次の3学期に POMR ガイドブック<sup>11)</sup>を用いて POMR 実習を行い、診療録の構成や意義、POMR についての講義や実習が反映しているものと考えられる。

卒業生に対するアンケート結果で、回答のあった15人の現在の担当業務内容は、索引業務10人、統計業務8人、診療録の貸し出し・返却7人、収納5人、コーディング4人、編冊4人、以下痛登録、カルテのマイクロ化等であった。

現在の担当業務内容に対して関連ありという回答を30.0%以上得た教科および実習は、医学基礎教科の中では、医学用語の関連が最も深く在學生と同様に病歴室職員においても、医学用語を常に必要とするためであろう。また、解剖・生理学、病理学、臨床医学内科系総論、臨床医学外科系総論にも在學生同様の関連が認められるが、これは、病歴室の業務内容が幅広くしかも深い医学的知識を必要とするためであると考えられる。

秘書専門（技術）教科の中でも、在學生の場合と同様に英文タイプ実習、書道（硬筆）の関連が深かったのは、前に述べた在學生と同様の理由によるものであろう。

応用教科の中の病歴管理学と病院実習の中の病歴室実習が関連が深かったのは、病歴管理の基礎知識と電話応対、収納、コーディング、編冊等の実習経験が反映しているものと考えられる。

## 5 まとめ

病歴室実習と医療秘書科の教育カリキュラムとの関連を把握するために在學生40人および卒業生16人に対してアンケート調査を行い、次のような結果を得た。

在學生に対するアンケート調査で、病歴室実習と関連ありという回答を30.0%以上得た教科は、電話応対では、秘書実務概論、秘書実務実習、病歴管理学、秘書総論、収納では、病歴管理学、コーディングでは、医学用語、病歴管理学、臨床医学内科系総論、臨床医学外科系総論、解剖・生理学、編冊・患者名索引カード作成では、英文タイプ実習、病歴管理学、POMRカンファレンス記録作成では、医学用語、書道（硬筆）、速記実習、臨床医学内科系総論、であった。

また、卒業生に対するアンケート調査で、現在の担当業務と在学中履習した教科および実習について関連ありという回答を80.0%以上得たものは、医学基礎教科では、医学用語、解剖・生理学、臨床医学内科系総論、病理学、臨床医学外科系総論、秘書専門（技術）教科では、英文タイプ実習、書道（硬筆）、応用教科では、病歴管理学、病院実習では病歴室実習であった。

以上の結果から病歴室実習および病歴室業務に対して、関連のある教科が明らかにされたが、病歴室業務はこれ以外にも多方面にわたっており、さらに研究を続けることが望まれる。



## 参 考 文 献

- 1) 佐々木匡秀他：医療短期大学における医療秘書科の開講について，日本病院会雑誌，Vol. 25, No. 1, 74, 1978
- 2) 井上昌彦他：医療短期大学における医療秘書養成の問題点，日本病院会雑誌，Vol. 25, No. 12, 86-87, 1978
- 3) 草信正志他：医療秘書科の臨床教授実習，日本病院会雑誌，Vol. 28, No. 11, 69, 1981
- 4) 湊泰子他：医療秘書科学生の図書館実習について，日本病院会雑誌，Vol. 29, No. 9, 92, 1982
- 5) 土居智子他：医療秘書科における医療事務実習，川崎医療短期大学・紀要，第3号，69-76, 1983
- 6) 草信正志他：医療秘書科の病歴室実習について，日本病院会雑誌，Vol. 25, No. 12, 150-151, 1978
- 7) 厚生省大臣官房統計情報部編：疾病，傷害および死因統計分類提要 第2巻，厚生統計協会，東京，1978
- 8) 厚生省大臣官房統計情報部編：疾病，傷害および死因統計分類提要 第3巻，厚生統計協会，東京，1978
- 9) 中島行正他：POMRカンファレンス，メディカルレコード，Vol. 6, No. 2, No. 3 合併号，25-27, 1980
- 10) 草信正志：医療評価と病歴室の役割，病院，Vol. 41, No. 3, 27-30, 1982
- 11) 上田智他：POMRガイドブック(1) 第2版，川崎医科大学，倉敷，1978

